

2021年9月2日(木)

MISCA との ZOOM 交流

大雨が降ったり、猛暑が続いた大阪もようやく9月に入り、秋の訪れを感じる季節になりました。お休みしていた MISCA との交流も再開です。緊急事態宣言が出ていなければ、MISCA の皆さんのお姿を少しでも見て頂こうとパブリックビューイングを計画しておりましたのに、残念です。でも、今回お二人も新しくズームにチャレンジしていただいて、参加していただきました。次回も同じように、例会の日に MISCA とのズームを行いますので、パブリックビューイングができますように。

さて、第8回目の MISCAZOOM 交流がはじまりました。今回は日本側19名、アメリカ側7名の参加でした。

日本側のトピックは、アメリカ側のプレゼンは、以下の通りです。

《トピック》

What does your surname or first name mean?

《プレゼン》

"A tour of Minneapolis and the Minnesota State Fair".

皆さん、勢ぞろい。新しい方のお顔も見えます。それでは、早速トピックに入りましょう。





グループAでは、キャロルとヘレーヌが参加してくれました。

キャロルという名前は、とてもありふれた名前で、同じ名前の友達が5人もいるそうです。キャロルの苗字は、ドイツ語で、「東から来た人」という由来があるそうです。ヘレーヌは、1911年に祖先が来た時、アイザックという名前だったそうですが、モンスールに変えました。ヘレーヌと言う名前は、ギリシャ語で、神に救われるという由来だそうです。

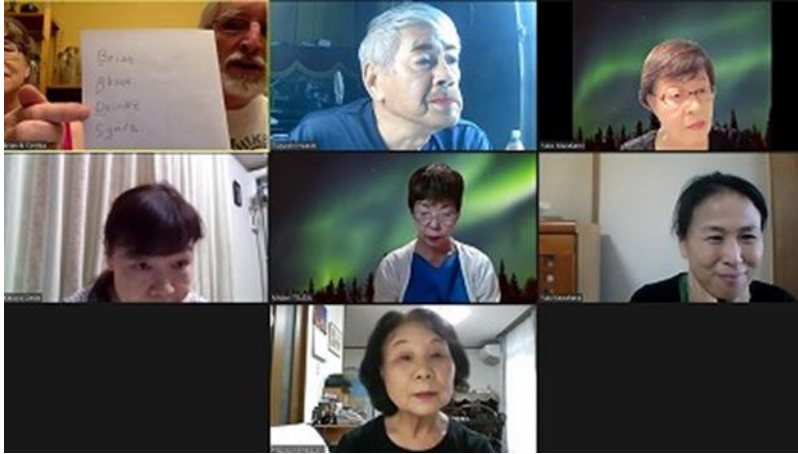
ヘレーヌは、1911年に祖先が来た時、アイザックという名前だったそうですが、モンスールに変えました。ヘレーヌと言う名前は、ギリシャ語で、神に救われるという由来だそうです。

会員から、日本人の苗字に、山、田、など自然に関するものが多いのは農業国だから、、、という説明があり、アメリカ人も理解が深まったのではないのでしょうか。人生は山を登るようなものだ、とご自分の名前のいわれを説明する人、光り輝く子の意味で「古事記」から一字を取ったというお名前の人、代々引き継がれた「敬う」の文字が女の子だからという理由で別の文字に変わったことを残念がる人、など皆さんの名前には、いろいろな由来があることがわかりました。



グループBでは、ワーナーとメアリーが参加。ワーナーはありふれた名前で、特に意味はないと言ひ、メアリーは自分の名前を好きなんだそうです。ご両親が願いを持って、英雄とつけられたであろうことや、どんなことにも打ち勝つことを願って、付けられた名前や、その漢字の別の読み方

の方がよく知られ、自分の名前が正しく呼ばれない人、日本のふるさとを愛する心を名前に持つ人、美しく長生きしてほしいと祖父母が願って付けた名前の人、食事を賄う人という意味の漢字の人。皆さんいろいろな由来をお持ちでした。



グループCでは、ブライアンとシンシアが参加。

カワセミの羽の色の名前を持つ人、ご自分の苗字がリバーベッドとリバーバンクなのか違いをネイティブに直接、聞いたり（ズームの醍醐味）、苗字の漢字から、ご先祖は海賊だったと想像する人。

ブライアンとシンシアは、ケルト由来言葉の身分の高い王様と月の女神、と由来を教えてくださいました。昔、名前の漢字には、制限があり、せっかくご両親が選んでくださったのに、その当時、名前の漢字になかったので、ひらがなになった人、いつもコメが口に入るようにと戦後の食糧難の時代にご両親が娘の幸せを願って、つけてくださった名前の人、同じ漢字で、その後、平和や幸せな時代をイメージして名前を付けられた人。それぞれの由来をととても楽しく聞かせていただきました。

その後、ミネアポリスの懐かしい写真が登場し、ミネアポリスとステイトフェアのプレゼンがありました。皆さん、コロナが収束したら、是非行ってみたいと思ったことでしょう。

次のズーム交流は、10月7日（木）9：30～です。

皆さんの多数のご参加をお待ちしています。